

●生物学 Biology

1. 所属構成員等

教授 長田敬五(併任)
准教授 岡 俊哉

2. 研究テーマ

1. 珪藻類の形態学的ならびに系統分類学的研究 Morphological and systematic studies of diatoms.
2. 有用生物材料の口腔領域への応用に関する研究 Probiotics for oral medicine
3. 初年次教育ならびに協同学習に関する実践的研究 Practical studies on first-year experience and cooperative learning.
4. 下等脊椎動物におけるエナメル質基質タンパク遺伝子の検索 Identification and characterization of enamel protein genes in lower vertebrates.

3. 今年度の研究上の特筆すべき事項

学会賞

記載事項なし

特許

記載事項なし

4. 学位取得者

記載事項なし

5. 主催学会等

記載事項なし

6. 国際交流状況

記載事項なし

7. 外部研究費

1. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), (新規), 2019~2021年度, 海藻由来薬効成分フコイダンの口腔医療への新たな応用, 岡 俊哉(代表), 今井 あかね(分担), 1300000円
2. 第一産業株式会社, 奨学寄附金, (新規), 2019年度, オーラルヘルスケアへのフコイダンの応用, 岡 俊哉(代表), 130000円
3. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), (新規), 2019~2021年度, サンゴ礁生態系における付着珪藻群集の構造解析, 鈴木秀和(代表), 長田敬五(分担), 神谷充伸(分担), 2630000円

8. 研究業績

A. 著書

1. 1) 長田敬五 (分担): 歯学(医学)教育と協同学習. 日本協同教育学会(編): 日本の協同学習. 1版, 株式会社ナカニシヤ出版, 京都市, 2019, 293-294. SBN978-4-7795-1416-6.

B. 原著

1. *Sasagawa I, Ishiyama M, Yokosuka H, Mikami M, Oka S, Shimokawa H. Immunolocalization of enamel matrix protein-like proteins in the tooth enameloid of spotted gar, *Lepisosteus oculatus*, an actinopterygian bony fish. ☆©Connective Tissue Research. 2019; 60: 291-303. doi : 10.1080/03008207.2018.1506446.

2. 平野真澄, 岡 俊哉, 三上正人, *今井あかね. 乳酸菌による歯周病原性菌 *Porphyromonas gingivalis* に対する殺菌作用について. ○日本口腔保健学雑誌. 2019; 9: 10-17. doi : 10.32303/jnohs.9.1_10.
3. *Kensuke Toyoda, Kei Kimura, Keigo Osada, David M. Williams, Tomoko Adachi, Katsumasa Yamada. Novel marine diatom ssRNA virus NitRevRNAV infecting *Nitzschia reversa*. ☆Plant Ecology and Evolution. 2019; 152: 178-187.
4. *Oka S, Okabe M, Tsubura S, Mikami M, Imai A. Properties of fucoidans beneficial to oral healthcare. ☆◎Odontology. 2020; 108: 34-42. doi : 10.1007/s10266-019-00437-3.
5. 佐藤治美, 菊地ひとみ, 鈴木雅也, 長田敬五, 新海航一. CAD/CAM用ハイブリッドレジンブロックの色調変化に関する色彩学的分析. ○歯科の色彩. 2020; 26: 21-27.

C. 解説・総説

記載事項なし

D. 報告・紀要

1. 岡 俊哉. MTAセメントと納豆菌混和材料の齲蝕治療応用と相乗効果: 基礎的実験の意義と今後. ◇日本歯科大学紀要 一般教育系. 2020; 49: 2-12. doi : 10.14983/00000942.
2. 鈴木秀和, 高品友綺, 長田敬五. 海産付着珪藻 *Climaconeis riddleae* A.K.S. Prasad の形態. ◇日本歯科大学紀要 一般教育系. 2020; 49: 13-16. doi : 10.14983/00000943.

E. 翻訳

特記事項なし

F. 学術大会(口演・ポスター発表)・講演会・研究会・研修会等での講演

1. 笹野 風, 鈴木秀和, 神谷充伸, 長田敬五. 神奈川県江の島沿岸域の海藻付着珪藻相. 日本珪藻学会第40回大会(高知), 高知市, 2019年5月11日
2. 長田敬五, 桑島治博, 熊倉雅彦, 両角祐子, 中原賢, 藤井一維. 新しい学習方略LBPの有効性. 第38回日本歯科医学教育学会, 福岡市, 2019年7月19~20日
3. 長田敬五. LBP (LTD based PBL) における学習展開. 初年次教育学会第12回大会, 八王子市, 2019年9月6~8日
4. 今井あかね, 煤賀美緒, 岡 俊哉, 斉藤英一. 唾液エクソソームにおけるN-結合型糖鎖の解析と年齢層別のタンパク質の相違. 第92回日本生化学会大会, 横浜市, 2019年9月18日~20日
5. 岡 俊哉, 螺良修一, 今井あかね. 口腔医療応用に向けた硫酸化多糖類フコイダンの有用性. 第92回日本生化学会大会, 横浜市, 2019年9月18日~20日
6. 笹川一郎, 岡 俊哉, 三上正人, 横須賀宏之, 石山巳喜夫. 歯のエナメル質様硬組織の硬骨魚類段階における分化. 第61回歯科基礎医学会学術大会, 東京都, 2019年10月12~14日
7. 長田敬五. 生徒が主体的に研究にのめり込む、互恵的で生産的な研究班への導き方. 令和元年度高等学校教育研究会 理科部会 生物研究会, 新潟市, 2019年11月20日
8. Kameda T, Sato H, Miyazaki A, Oka S, Ohkuma K, Terada K. Low temperature-polytetrafluoroethylene coating can improve metallic appearance of titanium wires without changing their mechanical property. 第78回日本矯正歯科学会学術大会, 長崎市, 2019年11月20~22日
9. 菅原一輝, 鈴木秀和, 神谷充伸, 長田敬五. 千葉県小湊産紅藻マギレソゾ上の付着珪藻相. 日本珪藻学会第39回研究集会(東京), 小金井市, 2019年11月30日~12月1日
10. 笹野 風, 鈴木秀和, 神谷充伸, 長田敬五. 日本産クチビルマガイケイソウ属 *Seminavis* の形態と分類. 日本珪藻学会第39回研究集会(東京), 小金井市, 2019年11月30日~12月1日
11. 牟田神東陽奈, 鈴木秀和, 神谷充伸, 長田敬五. 神奈川県野島公園の管棲珪藻相とその群集構造. 日本珪藻学会第39回研究集会(東京), 小金井市, 2019年11月30日~12月1日

12. 今井あかね, 煤賀美緒, 岡 俊哉, 辻村麻衣子, 斉藤英一. タンパク質の網羅的解析による若年層と熟年層女性の唾液エクソソームの比較. 第64回 日本唾液腺学会学術集会, 東京都, 2019年12月14日
13. 佐藤 郁, 三上正人, 岡 俊哉, 今井あかね. 齶蝕病原菌および歯周の生育に対する糖アルコール影響について. 第51回 歯科衛生研究会, 新潟市, 2020年2月19日
14. 塩田遥菜, 三上正人, 岡 俊哉, 今井あかね. ヒバマタ由来フコイダンの *Streptococcus mutans* および *Porphyromonas gingivalis* に対する増殖抑制効果について. 第51回 歯科衛生研究会, 新潟市, 2020年2月19日
15. 佐藤晋也, 豊田健介, 長田敬五, 出井雅彦. 変わり者の中心珪藻 *Hydrosera* の殻微細構造、種内多型およびオルガネラゲノム. 日本藻類学会第44回大会, 鹿児島市, 2020年3月26～28日

8-G 講演

1) 特別講演・シンポジウム等での講演

1. 岡 俊哉. オーラルヘルスケアに役立つフコイダンの特性. LMF研究会, 依頼講演, 東京, 2019年9月8日
2. 長田敬五. LBP (LTD based PBL) - PBLチュートリアル of 進化形 -. 令和元年度 歯科医学講演会, FD・SD委員会主催講演, 依頼講演, 東京都, 新潟市, 2019年12月26日, 2020年2月13日